



まるめろ通信



私の小径

花を育てることが今の私の生きがい。
花は心を癒してくれる。生涯土いじりを楽しみたい。

はたなか 畑中 きくさん 大正12年生まれ 95歳 / 東通村石持出身



大好きなチビ(11歳)、『二人』は仲良し。一緒に100歳まで頑張る!

畑中きくさんは「みちのく金谷」サービスセンターを週2回利用しながら自宅で暮らしています。きくさんは、東通村石持に5人姉妹の4番目として生まれました。実家は農業と漁業を営んでおり、小学校に入学したころから農作業を手伝っていました。

「農業は今でこそたくさんさんの機械があるけれど、当時は全部手作業で米を作っていたんだよ。本当に大変だった。」

終戦後、農作業の手伝いを続けながらむつ市にある知り合いの家へ和裁を習いに行った時に、米軍三沢基地で通訳の仕事をしていた2歳年上の鐵雄さんと出会い、24歳の時に結婚。結婚後はむつ市内の小川町に引っ越し3人の子どもに恵まれました。子育てをしながら50歳くらいまで知人の田畑の手伝いや土木工事、イカの加工所などで働きました。子どもたちが自立してからは、長女が経営する弁当屋「じゃ菜り」で野菜の皮むきなどを今でも手伝っています。

「その時が人生で一番輝いていた。生きてた中で一番楽しかった。」

平成11年に脊柱管狭窄症となり、右下肢に機能障害が残ってしまい、踊りに参加できなくなり、自宅前を通る山車を見て祭りを楽しんでいました。

楽器の演奏をしていた夫、鐵雄さんが、鐵雄さんが出演するステージを見るために、生まれたばかりの長男をおんぶして映画館「ほろく」へ行ったことがあります。

「趣味も価値観も全然違うけれど、『花』の趣味だけは一緒に、2人で花壇の手入れをするのが本当に楽しかった。夫と結婚して子どもができて、孫が産まれてきてくれたことが何よりも一番嬉しかった。日本一素敵な夫です。もう一度夫に会えたら、夫が運転するバイクに2人で乗って買い物に行きたい。」

昨年の秋、長年連れ添った鐵雄さんが病気のため亡くなってからは、何もやる気がおきず、家族との会話も段々減っていききました。そんな時、いつも側にいて慰めてくれたのが愛犬のチビでした。徐々に元気を取り戻したきくさん。現在の楽しみはチビにおやつをあげることです。

今年95歳のきくさん。今日も家族と楽しく暮らしています。

記/渡邊 奈美子

青森社会福祉振興団 日仏医療マネージメント研究会視察報告①



ミュチュアルにて。ミュチュアルは第二次世界大戦後、ドイツとイギリスの保険の良い部分をもとに創設されました。

9月2〜9日の日程で行われた「日仏医療マネージメント研究会」に参加し、フランスの医療・介護施設や公共機関の視察を行いました。参加者は日本各地の医療・介護関係者15名です。「デンマークをはじめとする北欧の医療制度は良い」という評判を聞いたことはあっても、フランスの医療・介護事情について知っているといる人はあまりいないのではないのでしょうか。

フランスの人口は約6700万人で日本の半数ほどです。平均寿命は男性79.3歳、女性85.4歳で男女ともに日本よりも2歳ほど若く、65歳以上の割合も日本に比べると低くなっています。しかし医師数は比較的多いため、全人口に対する医師の割合はフランスが日本を上回ります。

フランスにおける保険制度は「連帯」を理念に掲げています。重い病気の人はほど支払いが少なく、特定の病気や高額医療の場合には自己負担が免除されるというシステムです。基本的には日本と同様で、医療費の7割が強制加入の公的医療保険により負担されますが、残りの3割は任意加入のプライベート医療保険(ミュチュアル)から支払われるため、実際には患者の自己負担はあります。この保険は任意加入ではあるものの「保険料の支払いがあったとしても、自己負担がない方がいい」とフランスで

は考える人が多く、国民の9割以上が加入しています。また、フランスには「かかりつけ医制度」というものがあり、16歳以上の国民は一人につき一名のかかりつけ医を決めることが義務づけられ、VITALE CARD(ビタルカード)と呼ばれるカードを持つことになっています。緊急時や小児科・産婦人科等の特殊な診察ではない限り、最初はここからかかりつけ医に診てもらわなければならないため「なんでも診ることができるとお医者さん」が多く存在し、患者は必要に応じて専門医へと紹介を受けます。

救急車については日本と大きく異なり、3種類に分類されています。①生死にかかわる緊急時に出動するSAMU(サミュ)②生死にかかわらないものの外傷などがある時に出動する消防局救急車③医療タクシー的な存在の民間医療搬送車(有料)です。この救急システムの確立により、救急車の要請に対して、医師が現場に向かい患者の処置をしている間にオペレーターが適切な病院を探するため、即座に搬送することができます。

医師が比較的多いからできるシステムなのかもしれませんが、日本では「病院のたらいまわし」で命を落とす方もいます。日本でも同じようなシステムが導入できれば、救われる命があるのかもしれない。

記/山田 有貴子



サミュでは医師による電話でのトリアージ(「選別」を意味するフランス語)が行われ、医師が同乗することもあります。

やさしい街づくりを応援しています。

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社 **ニツシヨク** NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目13-35
電話 (0175) 22-7222
FAX (0175) 22-7081

経営のお役に立つ

あおきんリース むつ支店

〒035-0051 むつ市新町 28-17
TEL.0175-23-0171
<http://www.aogin-lease.jp>

樹木希林を偲ぶ 映画上映会 2018. 12/8 土

10:00 『そして父になる』
13:30 『東京タワー オカンとボクと時々オトン』
当日券のみ: 大人1,200円他

〒035-0051 下北文化会館 ☎22-8411

ベトナム・フエ事業所の 着任者を紹介します!!

ミュージカル「ミス・サイゴン」で初めてベトナムに触れた須藤郁子。25年間蓄積してきた豊富な介護経験をもとに、ベトナムに赴き、ベトナム・フエ事業所の着任者を紹介します!!

ベトナム・フエ事業所の着任者を紹介します!!

ミュージカル「ミス・サイゴン」で初めてベトナムに触れた須藤郁子。25年間蓄積してきた豊富な介護経験をもとに、ベトナムに赴き、ベトナム・フエ事業所の着任者を紹介します!!

（株）福祉リスクマネジメント研究所 鳥野 猛 所長 リスクマネジメント 研修会開催報告

法律・制度の改正や、災害時におけるリスクマネジメントなど、介護現場を取り巻く環境は日々変化しています。
当法人では、直面する様々なリスクについて最善の対応ができるよう、講師を招いて研修を行いました。多岐にわたる内容でしたが、一部分を要約して掲載します。

10月19日(金)、20日(土)の2日間で、(株)福祉リスクマネジメント研究所 所長兼むつこ学院 大学教授の鳥野猛氏を招いて「リスクマネジメント」研修会を開催しました。

介護保険制度がスタートし、幾度もの法改正を経て現在に至るまで、また今後10年で起こりうる問題について、事例をもとに分かりやすくお話ししていただきました。

事業所のリスクとなるポイントには業務の様々な点に潜んでおり、どんなに小さいなことであっても事故となるリスクがあります。事故を100%防ぐことは難しいかも知れませんが、事故を未然に防ぐ取り組みと事故が起きてしまった時の対応について、法人全体や事業所内で共有しておくことが必要となります。

どのような資料が分かりやすいのか、どのように伝えることが相手にわかりやすく伝わり、わかりやすく伝えるには何をしたらいいのかを講義していただきました。

みちのく荘ではこのように、外部からも講師を招き、職員質の向上に励んでいます。

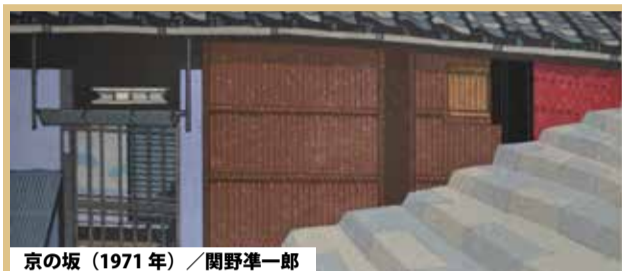


●講師紹介

鳥野猛(からすの たけし)氏
1968年4月生まれ 神戸市出身

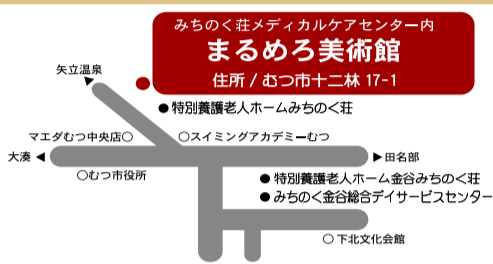
日本福祉大学大学院卒業
愛知県民生部で暴力団員を相手にした生活保護ケースワーカーを経験。その後、法学部で社会保障法、公的扶助論を教授しながら、現在はむつこ学院大学に勤務している。

介護事業所が直面する様々なリスクへの対応について、事業所運営に必要となる知識や技能ならびにノウハウを研究開発し、全国各地で講演を行っている。



関野準一郎記念 まるめろ美術館ご案内 「京都」展

同時開催【花の舞妓】
期間/2018年10月5日(金)~2019年2月5日(火)
開館時間/10:00~16:00
資料代/300円(中学生以下無料)
休館日/第一水曜・第一木曜・土・日・祝日・年末年始



京の坂(1971年) / 関野準一郎

みちのく荘で働く仲間たち 第3回 歯科衛生士

●歯科衛生士ってどんな仕事?

歯科衛生士は、皆様の歯・口腔の健康づくりをサポートする国家資格の専門職です。
歯科医師の指示のもと、フッ素塗布や歯石除去を行う歯科予防処置、学校や施設などで歯磨き指導を行う歯科保健指導、歯科医師をサポートする歯科診療補助を主な業務として行います。この三つの業務は法律に定められている歯科医療行為となり専門性の高い知識・技術を必要とします。



名前: 瀨川 一実
出身地: 青森県むつ市
みちのくデイケアセンター

瀨川DH(注)は2005年にみちのく荘へ入社しました。
みちのく荘へ入社したきっかけは、歯科衛生士募集の案内を見たことです。福祉については未知の世界でしたが、迷わず飛び込みました。当時は介護の現場に歯科衛生士がいることはとても珍しいことでしたが、周りの職員にたくさんサポートをしてもらいました。
新人のころ、利用者の新しい義歯を作るために歯科医院へ一緒に行った時のことです。利用者の名前を何度呼んでも、目を閉じて反応しませんでした。診察が嫌で「寝たふり」をしていたのですが、意識がなくなったかとも思っていました。
歯科医院での仕事と違い、先生もいない先輩もいません。研修やセミナーへ行き自身でスキルを磨く必要がありますが、介護職員にアドバイスを求められたり、勉強会の講師になって専門知識を他職種と共有することで「利用者を支えているんだ」と感じます。
施設から一歩飛び出して、地域の人と会えるのが好きです。地域での仕事は歯周疾患予防や誤嚥性肺炎予防の啓もう活動、介護予防の口腔体操指導などです。高齢者の口腔機能についてたくさんの人に興味を持ってもらいたいため、将来介護の仕事を目指している学生たちに、高齢者の口腔ケアの現状や口腔機能の特徴について話す機会を作っていくことが今後の目標です。
(注)DHとは歯科衛生士(Dental Hygienist)の略です。



【看護】優勝者: 高田夏子
みちのく十二林ショートステイ
課題: 意識不明で倒れている利用者の救命処置



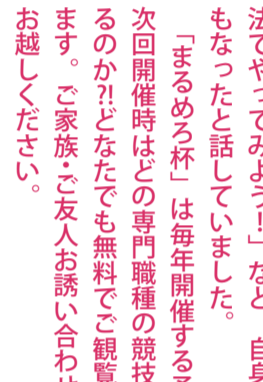
【相談員】優勝者: 工藤桂子
みちのくケアプラザセンター
課題: 利用者家族から介護の悩みについての相談対応



【介護】優勝者: 堺 香菜
特別養護老人ホームみちのく荘
課題: 視覚障害のある利用者の歩行介助と食事前までの介助



【リハビリ】優勝者: 成田栄司
みちのくデイケアセンター(短時間)
課題: 利用者の痛みの評価とリハビリプログラム等の説明



【管理員】優勝者: 藤江一人
特別養護老人ホーム金谷みちのく荘
課題: 依頼された二つの作業を無駄なく丁寧に進行



【管理員】優勝者: 藤江一人
特別養護老人ホーム金谷みちのく荘
課題: 依頼された二つの作業を無駄なく丁寧に進行

9月29日(土)、4回目となる「みちのく荘サービス公開競技大会まるめろ杯」が特別養護老人ホーム金谷みちのく荘内・地域交流ホールで開催されました。「リハビリ」「看護」「介護」「管理員」「相談員」の計5部門の職員たちが、それぞれの職種で予選会を行い代表選手を決定。課題はそれぞれの職種の責任者が熟考し、より専門性を問われるものになっています。代表に選ばれた職員は忙しい業務の合間を縫って、同じ事業所の職員に協力・指導をしてもらいながら大会に臨み、大勢の観客に見守られ緊張しながらも練習の成果を堂々と披露し技術を競っていました。「次はこの方法でやってみよう!」など、自身の勉強にもなったと話していました。

みちのく荘サービス公開競技大会 第4回 まるめろ杯 結果報告

「まるめろ杯」は毎年開催する予定です。次回開催時はどの専門職種の競技が行われるのか?どなたでも無料でご観覧いただけます。ご家族・ご友人お誘い合わせのうえ、お越しください。



まだまだ作りますよ!と宣言。気がつけばなんと2,190枚!

「出来る悪いものが混じっていて学校に迷惑がからないうように」と全部の布をチェックし準備は万全。寄付当日は、校長先生はじめ生徒の皆さんに迎えられ緊張しましたが、喜んでもらい大満足!!
少し活動を休止する予定でしたが、すぐにも第二弾が始まりそうです。

職員から集めた古着のジーンズを解体する係、ベンチを丸く削る係、ハサミで切り抜く係に分かれ流れ作業で、多い時には1日100枚ほど作ったこともありましたが、もちろん、通常のリハビリも行いその合間に作ります。
作業に参加する利用者は自分の仕事として「役割」を感じ、子どもたちや学校の皆さんが喜ぶ姿を想像し手を進めます。

みちのくデイケアセンター(一日型)では利用者の提案により、作業療法の一環として椅子の脚力バーを作成しました。若生小学校に職員の子どもがいたこともあり、脚力バーの寄付の申し出を快諾していただき活動開始となりました。
職員から集めた古着のジーンズを解体する係、ベンチを丸く削る係、ハサミで切り抜く係に分かれ流れ作業で、多い時には1日100枚ほど作ったこともありましたが、もちろん、通常のリハビリも行いその合間に作ります。

みちのくデイケアセンター(一日型) 若生小学校へ椅子の脚力バーを寄付しました!

やさしい街づくりを応援しています。

快適な環境づくりのお手伝い
○介護用品のレンタル・販売 (車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修
株式会社 シルバーサービス
〒035-0033 むつ市横町2-9-13
TEL 0175-22-9511

お家様へエネルギーの創造と革新を提唱し、経済・社会の発展に努めます。
ENEOSグローブエナジー株式会社
URL http://eg-energy.jp/
むつ支店: むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

し尿収集運搬業・浄化槽保守点検・清掃業
一般・産業廃棄物収集運搬業
下水道管渠清掃カメラ調査、下水終末処理場維持管理業
谷川環境衛生開発(株)
代表取締役社長 谷川 聡
本社: むつ市新町41-1
TEL. 0175(22)2659 FAX. 0175(22)7783
フリーダイヤル 0120-12-2659

むつ市優良企業視察会が行われました
10月3日、むつ市主催の「むつ市優良企業視察会」が行われ、大湊高等学校と川内校舎の生徒18名が、金谷みちのく荘と金谷デイサービスセンターを見学しました。
地元人材の確保のため、高校生を対象に地元企業の魅力を知ってもらうという企画です。皆さん目を輝かせて、真剣に説明を聞いていました。